

むつ小川原だより

今号では、2023年3月23日～24日にかけて実施した「むつ小川原開発地区公募視察会」について、参加者の皆様からの感想をご紹介します。

Impression
1

長瀬 琢磨 様

丸紅株式会社 原子燃料部長

SMO 殿の第一回目の公募ツアーに参加する機会をいただいた。青森、特に太平洋側は、私が従事する産業に欠かせない場所だ。それでも今回ツアーに組み込まれた日本原燃殿の施設以外は、あまり知らない。一度この地域をマクロ的に見てみたかった、そんな希望もあったのだ。

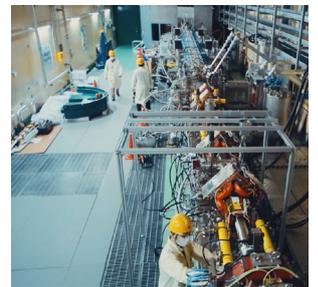
やはり来てよかった。再生エネルギーの施設もそこかしこに建設させられており、修繕のためのトレーニングの場所もある。世界で再生可能エネルギーと原子力という、カーボンニュートラルな両エネルギーが無意味な対立構造で語られる中、ここ青森は見ごとにベストミックスを体現していたのだ！

建設当初に隅々まで歩かせていただいた再処理施設内も、震災以降の安全対策工事以降は、邪魔になるのではないかという気持ち先立ち、訪問は控えていた。久しぶりのこの訪問で、工事がいかに大変なものかを再認識できた。

そしてなんといっても、最も興味があったのは核融合の開発施設。原理の復習、何が課題なのか、開発のポイントなのか、各エキスパートからの説明で整理できた。ポイントの一つは材料開発だ。核融合の結果生まれるエネルギーの強い中性子、これを覆い、高温高压に耐える材料・・・そんな夢のある開発がここでは行われていた。そして材料だけではなく、中性子を利用して他産業への応用も目指している。これもロマンだ！

昼のお弁当、夜の懇親会では青森でとれる魚介類はもちろんのこと、肉や野菜もおいしくいただいた。

私のライフワークである原子力、再エネ、核融合、豊かな自然、美味な食物、WBC で大谷の二刀流には改めて感動したが、一体青森というのは何刀流なのだ・・・是非産業ベースでも日本の MVP を目指してもらいたい。



出典/QST 六ヶ所研究所
動画「NOW2021」

した。また、今回の視察会では、尾駮レイクタウン、ろっかぽっか、六趣工房、六旬館、と村の生活を感じられる箇所も見ることができました。想像していた以上に公共・商業施設が整備されており、住宅も綺麗で暮らしやすそうな村だと感じました。六旬館では、立派なお野菜がリーズナブルに販売されており、たくさん購入させていただきましたが、どれもとても美味しかったです。夜の懇親会では青森のお酒と共に、青森の新鮮な食材を堪能させていただきました。青森の飲食物の美味しさも、この視察会で得られた新たな気づきです。

是非また、青森県、六ヶ所村を訪れたいと思います。



長瀬様、石崎様、ご感想をありがとうございました！
次回の公募視察会は、9月頃を予定しています。
日程が決まり次第、メールマガジンでお知らせいたします。
皆さまからのお申込みをお待ちしております。

編集・発行 新むつ小川原株式会社
東京都千代田大手町1-3-2 経団連会館20階

